

## J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	逆漏斗型中枢ネックを有する腹部大動脈瘤に対するAFXステントグラフトシステムの有用性を検討する多施設後ろ向き観察研究
倫理委員会承認番号	No.19-43
研究の対象	2016年1月1日から2019年8月31日までに腎動脈直下の腹部大動脈が逆漏斗型の形状をしている腹部大動脈瘤に対してAFXステントグラフトシステムを用いてステントグラフト内挿術を実施した患者さまを対象とします。
研究目的・方法	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術において、逆漏斗型の中枢ネックはtype 1a endoleak（瘤内への血液流入）が生じやすいのですが、AFXステントグラフトシステムはその他のステントグラフトと骨格構造が異なりグラフトが独立して膨らむ（Active Seal）特徴を持っているため、その他のステントグラフトよりもより効果的なシーリングを得ることができると報告されています。しかし、実際に逆漏斗型での効果を検証した報告は今のところありません。そこで、本研究では多施設での逆漏斗型の中枢ネックを有する腹部大動脈瘤に使用されたAFXステントグラフト症例を集積し、その成績を後ろ向きに検討して有用性を検討したいと思えます。
研究に用いる 試料・情報の種類	診療録（年齢、性別、基礎疾患、治療法）および検査画像（CT、血管造影）
外部への 試料・情報の提供	匿名化した情報を東京都済生会中央病院心臓血管外科に集め、その管理および解析については研究責任者（藤村直樹）が責任をもって実施します。また、CT画像は別途契約する奈良県立医科大学中央放射線部（コアラボ）に匿名化したまま送付し、そちらで画像解析されます。他施設のデータを解析する際は、患者情報を特定する連結表は交換せず、匿名化されたデータのみを共有します。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や論文での発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ( )
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 心臓血管外科 研究責任者：小澤優道 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	